

第28回(平成22年度)研究助成応募要領

1. 助成対象研究分野及び助成対象者

- (1) 生命科学、特に疾病の予防と治療に関する諸分野の基礎的研究並びに臨床への応用的研究に意欲的に取り組んでいる、日本国内在住の50歳未満(平成22年5月31日現在)の研究者(生命科学研究分野の博士の学位を有する者或いはこれと同等以上の研究能力を有する者)
- (2) 助成対象者は、単独研究又は共同研究のいずれでも結構です。共同研究の場合には主たる研究者を明示して下さい。
- (3) 助成対象研究分野は以下といたします。尚、当該分野の選択は、研究テーマ、所属機関により決めて下さい。
 - a. 基礎的生命科学研究分野
 - b. 臨床的生命科学研究分野
 - c. 創薬生命科学分野

2. 助成対象外

- (1) 同一の研究について他の財団の助成金を受けている研究
- (2) 国及び他機関より多額の助成金を得ている共同研究
- (3) 当財団より研究助成金受領後3年以内の申請者
- (4) 対象外分野：医療機器分野、看護分野、食品科学(健康食品も含む)分野、農薬分野
- (5) 当財団に対して、同一年度に他の助成(海外共同研究支援助成・シンポジウム開催助成)の複数の応募申請
- (6) 自己推薦者、推薦者と同一の研究室に所属している者、財団関係者等(理事、評議員、選考委員、名誉理事及び高峰記念三共賞受賞者)並びに当該親族

3. 研究助成金額及び期間

1件あたり200万円とします。ただし、1年毎に100万円ずつ2回に分けて交付します(助成期間：平成22年4月～平成24年3月)。助成件数は30件の予定です。

4. 応募方法

- (1) 当財団より、理事会において指定された全国の生命科学分野の大学大学院研究科長、研究機関長並びに当財団の理事・評議員、名誉理事及び高峰記念三共賞受賞者宛に、応募要領、推薦のための応募者選定ガイドライン、所定の推薦書を送付いたします。
- (2) 推薦者は、応募者の中から、応募者選定ガイドラインに基づき、公正に推薦をお願いいたします。尚、推薦は、原則、1推薦者1件とします。
- (3) 応募者は、当該推薦書を得て、以下の書類を、当財団宛に締切日までに提出して下さい。
 - ① 推薦書(推薦者の捺印を要します)：1部
 - ② 申請書(当財団ホームページから書式をダウンロードお願いします)：各4部
 - ③ 申請者の主要論文2報(コピー可)：各4部

- (4) 提出先：郵便または宅配便にて発送して下さい。
〒107-0052 東京都港区赤坂3-12-5 共友ビル
財団法人 三共生命科学研究振興財団 研究助成担当宛

5. 応募情報のWEB入力

- (1) 提出書類の発送後、速やかに財団ホームページの「研究助成 電子申請フォーム」から応募情報を入力してください。当財団で応募の確認に使用いたします。
(2) 締切日までに書類提出とWEB入力の両方が完了している必要があります。

6. 応募受付期間

平成22年4月1日より平成22年5月31日（消印有効）

7. 選考

提出頂いた資料をもとに選考委員会で選考のうえ、理事会で決定します。

8. 決定通知

平成22年12月31日までに推薦者及び申請者宛にご通知します。

9. 研究助成金の交付方法及び交付期日

- (1) 交付方法：財団は、原則、所属機関の研究奨学金口座に助成金を振り込みます。
(2) 交付時期：平成23年1月31日までに初年度分を交付します。なお第2回目（次年度分）は平成24年1月頃に交付します。
(3) 交付にあたり、原則、当財団において、事務手続き等について説明を実施します。尚、交通費は自己負担とします。

10. 研究助成金の使途

- (1) 使途範囲は、研究費（直接経費）とする。但し、以下に記載する費用は対象外とします。
① 応募する研究者本人および共同研究者の人件費
② 汎用性のある機器（例：パソコン、ファクシミリ、複写機）の購入費
③ 応募者が所属する組織の間接費・管理経費・共通経費
(2) 使途内容は、応募申請書記載のとおり願います。

11. 研究成果の報告と期日

- (1) 助成研究経過報告の提出：研究の進捗状況を平成23年12月末日までに当財団あてにご報告下さい（A4版1枚程度）。
(2) 最終報告の提出：平成24年6月末日までに助成研究課題に対する研究論文を当財団あてに提出願います。（原稿用紙400字詰〈日本語〉約20枚。参考文献を含む、図表は別）なお、当財団は上記論文を「研究報告集」として印刷物、その他の方法をもって公表致します。
また、研究成果を外部に発表される場合は、「財団法人 三共生命科学研究振興財団（英文名；Sankyo Foundation of Life Science）の助成による」旨をお書き添え下さい。

(3) 会計報告書を各年度末及び終了時に当財団あてにご報告願います。

12. 個人情報保護法に関する事項

- (1) 当財団が本件助成に関して取得する個人情報は、選考作業や助成の可否など本申請に関する業務に必要な範囲に限定して取り扱います。
- (2) 当財団は本件助成が決定した場合、決定者に関する情報を当財団ホームページ上に一般公開するほか、公益財団法人助成財団センターに提供します。
- (3) 推薦書、申請書は採否にかかわらず一切返却しません。

財団法人 三共生命科学研究振興財団
(Sankyo Foundation of Life Science)
〒107-0052 東京都港区赤坂3-12-5 共友ビル
TEL 03-3588-1816 FAX 03-3588-1815
E-mail : info@sankyo-fdn.or.jp

財団法人 三共生命科学研究振興財団

研究助成応募者選定ガイドライン

三共生命科学研究振興財団の研究助成の応募者の選定に当たり、下記のガイドラインに基づき、公正、かつ公平に選定をお願いいたします。

記

1. 推薦者の資格：当理事会において指定された生命科学分野を専門とする全国の大学大学院研究科長、研究機関長及び当財団の名誉理事、理事、評議員及び当財団の褒賞受賞者（高峰記念三共賞受賞者）
2. 推薦数：推薦者の推薦者数は、原則1件とする。
3. 応募期間：平成22年4月1日から平成22年5月31日（消印有効）
4. 応募者の選定基準
 - (1) 当該助成応募の対象となる研究テーマが、当財団の設立趣旨に合致し、先進性、独創性を有していること。
 - (2) 研究計画が具体的であり、また、研究成果が将来、臨床応用、創薬に波及が見込まれること。
 - (3) 応募者の研究業績が優れており、当該研究計画を遂行できる能力を有し、準備状況が示されていること。
 - (4) その他、応募者を特に推薦する理由を示すこと。
5. 応募者の選定除外対象
 - (1) 同一の研究について他の財団の助成金を受けている研究
 - (2) 国及び他機関より多額の助成金を得ている共同研究
 - (3) 当財団より研究助成金受領後3年以内の申請者
 - (4) 対象外分野：医療機器分野、看護分野、食品科学（健康食品も含む）分野、農薬分野
 - (5) 当財団に対して、同一年度に他の助成（海外共同研究支援助成・シンポジウム開催助成）の複数の応募申請
 - (6) 自己推薦者、推薦者と同一の研究室に所属している者、財団関係者等（理事、評議員、選考委員、名誉理事及び高峰記念三共賞受賞者）並びに当該親族

以上

財団法人 三共生命科学研究振興財団
第 28 回 (平成 22 年度) 研究助成推薦書

平成 年 月 日

財団法人 三共生命科学研究振興財団 行

推薦者	
氏 名	Ⓜ
所属機関	職 名

三共生命科学研究振興財団の研究助成について、『財団法人三共生命科学研究振興財団研究助成応募者選定ガイドライン』に基づき、公正、かつ公平に選定した結果、以下の申請者を推薦する。

尚、応募者を特に推薦する理由は以下のとおりである (800字以内)。

研究助成申請者	
氏 名	
住 所 (〒)	TEL
所属機関	職名
所 在 地 (〒)	TEL
	FAX
E-mail :	
研究課題	

第26回(平成23年度)

三共“フェローシップ”奨学研究助成候補者応募要領

1. 趣 旨

下記の課題に基づく研究の推進を図り、かつ優れた研究者を養成するため、海外の大学等において所定の課題の研究に一定期間専念する優秀な若手研究者に対して、奨学研究助成金を支給します。

2. 対象研究課題及び対象者

- (1) 生命科学、特に疾病の予防と治療に関する諸分野の基礎的研究並びに臨床への応用的研究に意欲的に取り組んでいる優秀な若手研究者。
- (2) 「第3次対がん克服10か年総合戦略」に基づく重点研究課題に関連して意欲的に研究を行う優秀な若手研究者。
- (3) 助成対象研究分野は以下といたします。尚、当該分野の選択は、研究テーマ、所属機関により決めて下さい。
 - a. 基礎的生命科学分野
 - b. 臨床的生命科学分野
 - c. 創薬生命科学分野

3. 応募資格

次の要件を満たす者とします。

- (1) 博士の学位を有すること又はこれと同等以上の研究能力を有すること。
- (2) 推薦締切日の時点(平成22年5月31日)で年齢が35歳以下であること。尚、医師免許取得者は37歳以下とする。
- (3) 助成期間(1年以上)、海外に於ける研究機関で研究に従事することを計画している者。
- (4) 本“フェローシップ”以外に収入のない者。日本学術振興会、ヒューマンフロンティアサイエンスプログラム等、他の機関の大型助成との重複は認めない。
- (5) 海外留学経験のない者。現在、既に留学中の場合も応募できません。
- (6) 対象外分野：医療機器分野、看護分野、食品科学(健康食品も含む)分野、農業分野
- (7) 推薦者と同一の研究室に所属している者並びに推薦者・財団関係者等(理事、評議員、選考委員、名誉理事及び高峰記念三共賞受賞者)並びに当該親族は応募不可とする。

4. 奨学研究助成金及び支給方法

月額25万円を2年間、計600万円を平成23年4月から支給します(振込み)。

助成件数は5件の予定。

5. 奨学研究助成金支給期間

平成23年4月1日～平成25年3月31日

6. 応募方法

- (1) 当財団より、理事会において指定された全国の生命科学分野の大学大学院研究科長、研究機関長並びに当財団の理事・評議員、名誉理事及び高峰記念三共賞受賞者宛に、応募要領、応募者選定ガイドライン、所定の推薦書を送付いたします。
- (2) 推薦者は、応募者の中から、応募者選定ガイドラインに基づき、公正に推薦をお願いいたします。尚、推薦は、原則、1推薦者1件とします。
- (3) 応募者は、当該推薦書を得て、以下の書類を、当財団宛に締切日までに提出して下さい。
 - ① 推薦書（推薦者の捺印を要します）：1部
 - ② 申請書（様式1）：各4部
 - ③ 申請者調書（様式2）：各4部
 - ④ 現在の研究指導者の推薦書：各4部
 - ⑤ 学会誌等に掲載された主要な論文2報：各4部
 - ⑥ 受け入れ機関の研究指導者の受け入れ承諾書：1部
併せて承諾書（Letter）を添付して下さい。
- (4) 提出先：郵便または宅配便にて発送して下さい。
〒107-0052 東京都港区赤坂3-12-5 共友ビル
財団法人 三共生命科学研究新興財団 三共“フェローシップ”奨学研究助成担当宛

7. 応募情報のWEB入力

- (1) 提出書類の発送後、速やかに財団ホームページの「三共“フェローシップ”奨学研究助成 電子申請フォーム」から応募情報を入力してください。当財団で応募の確認に使用いたします。
- (2) 締切日までに書類提出とWEB入力の両方が完了している必要があります。

8. 応募受付期間

平成22年4月1日より22年5月31日（消印有効）

9. 選考及び決定通知

書類選考及び面接選考により行ないます。

- (1) 書類選考：提出いただいた資料をもとに選考委員会で選考のうえ、内定者については平成22年11月初旬頃までにご通知します。
- (2) 面接選考：内定者について、平成22年11月中旬頃に面接を行います。
- (3) 決 定：面接選考の合格者で、本人が研究に従事することを希望する機関の所属長及び研究指導者の承諾を得た研究者について、理事会で決定します。
- (4) 決定通知：平成22年12月31日までに推薦者及び本人あてにご通知します。

10. 三共“フェローシップ”奨学研究助成受給者の義務

- (1) 受入れ機関の研究指導者の下で研究に専念すること。
- (2) 受給期間中に就職した場合には、速やかにご連絡下さい。就職後の奨学研究助成金は停止します。
- (3) 留学先の研究指導者より在職証明を1年目の終了時に当財団に提出して下さい。
- (4) 助成研究経過報告の提出：研究の進捗状況を平成24年3月末日までに当財団あてにご報告下さい（A4版1枚程度）。
- (5) 最終報告の提出：平成25年6月末日までに助成研究課題に対する研究論文を当財団あてに提出願います。（原稿用紙400字詰〈日本語〉約20枚。参考文献を含む、図表は別）なお、当財団は上記論文を「研究報告集」として印刷物、その他の方法をもって公表致します。
- (6) 研究成果を外部に発表される場合は、「財団法人 三共生命科学研究振興財団（英文名；Sankyo Foundation of Life Science）の助成による」旨をお書き添え下さい。
- (7) 会計報告書を終了時に当財団あてにご報告願います。

11. 個人情報保護法に関する事項

- (1) 当財団が本件助成に関して取得する個人情報は、選考作業や助成の可否など本申請に関する業務に必要な範囲に限定して取り扱います。
- (2) 当財団は本件助成が決定した場合、決定者に関する情報を当財団ホームページ上に一般公開するほか、公益財団法人 助成財団センターに提供します。
- (3) 推薦書、申請書等は採否にかかわらず一切返却しません。

財団法人 三共生命科学研究振興財団
(Sankyo Foundation of Life Science)
〒107-0052 東京都港区赤坂3-12-5 共友ビル
TEL 03-3588-1816 FAX 03-3588-1815
E-mail : info@sankyo-fdn.or.jp

平成22年4月

財団法人 三共生命科学研究振興財団

三共“フェロシップ”奨学研究助成 応募者選定ガイドライン

三共生命科学研究振興財団の三共“フェロシップ”奨学研究助成の応募者の選定に当たり、下記のガイドラインに基づき、公正、かつ公平に選定をお願いいたします。

記

1. 推薦者の資格：当理事会において指定された生命科学分野を専門とする全国の大学大学院研究科長、研究機関長及び当財団の名誉理事、理事、評議員及び当財団の褒賞受賞者（高峰記念三共賞受賞者）
2. 推薦数：推薦者の推薦者数は、原則1件とする。
3. 応募期間：平成22年4月1日から平成22年5月31日（消印有効）
4. 応募者の選定基準
 - (1) 当該助成応募の対象となる研究テーマが、当財団の設立趣旨に合致し、先進性、独創性を有していること。
 - (2) 研究計画が具体的であり、また、研究成果が将来、臨床応用、創薬に波及が見込まれること。
 - (3) 応募者の研究業績が優れており、当該研究計画を遂行できる能力を有し、準備状況が示されていること。
 - (4) 海外の適応能力（語学力を含む）が見込まれること。
 - (5) その他、応募者を特に推薦する理由を示すこと。
5. 応募の対象範囲
 - (1) 博士の学位を有すること又はこれと同等以上の研究能力を有すること。
 - (2) 推薦締切日の時点（平成22年5月31日）で年齢が35歳以下であること。尚、医師免許取得者は37歳以下とする。

- (3) 助成期間（1年以上）、海外に於ける研究機関で研究に従事することを計画している者。
- (4) 三共“フェローシップ”奨学研究助成以外に収入のない者。
- (5) 海外留学経験のない者。

6. 応募の選定除外対象

- (1) 日本学術振興会、ヒューマンフロンティアサイエンスプログラム等、他の機関の大型助成との重複は認めない。
- (2) 現在、既に海外留学中の場合は応募不可。
- (3) 対象外分野：医療機器分野、看護分野、食品科学（健康食品も含む）分野、農薬分野
- (4) 推薦者と同一の研究室に所属している者並びに推薦者・財団関係者等（理事、評議員、選考委員、名誉理事及び高峰記念三共賞受賞者）並びに当該親族

以 上

財団法人 三共生命科学研究振興財団

第 26 回（平成 23 年度）三共“フェローシップ”奨学研究助成推薦書

平成 年 月 日

財団法人 三共生命科学研究振興財団 行

推薦者	
氏 名	
所属機関	職 名

三共生命科学研究振興財団の研究助成について、『財団法人 三共生命科学研究振興財団 三共“フェローシップ”奨学研究助成応募者選定ガイドライン』に基づき、公正、かつ公平に選定した結果、以下の申請者を推薦する。

尚、応募者を特に推薦する理由は以下のとおりである（800字以内）。

申請者	
氏名	
住所(〒)	TEL
所属機関	職名
所在地(〒)	TEL
	FAX
E-mail :	
研究課題	

平成 22 年 2 月現在

財団法人 三共生命科学研究振興財団概要

財団法人 三共生命科学研究振興財団は、生命科学分野における独創的な研究を援助奨励するとともに国際交流の推進を図り、学術の振興及び人類の健康と福祉の向上に寄与することを目的として、三共株式会社（現 第一三共株式会社）の出捐により、昭和 58 年（1983）11 月に文部大臣（現文部科学大臣）の許可を得て設立された。

設立以来、目的達成に向けて、生命科学、特に疾病の予防と治療に関する諸分野の基礎的研究並びに臨床への応用的研究に関する研究助成、国際交流援助（共同研究支援助成、国際シンポジウム開催助成）、若手研究者の海外留学支援（三共フェロシップ奨学研究助成）などの助成事業並びに生命科学の進歩・発展に顕著な功績をあげ、かつ活躍中の研究者に対する褒賞事業を行っている。

目 的

この法人は、生命科学特に疾病の予防と治療に関する諸分野の基礎的研究並びに臨床への応用的研究を助成することにより、この分野の研究の振興を図り、もって、人類の健康と福祉の増進に寄与することを目的とする。

事 業

この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 生命科学の研究の助成
- (2) 生命科学に関する研究を行う外国人の招聘及び我が国の研究者の海外派遣に対する助成
- (3) 生命科学に関する研究会、シンポジウムの開催及び開催の助成
- (4) 生命科学の研究のために留学する若手研究者への奨学研究助成
- (5) 生命科学に関する研究の進歩発展に顕著な功績のあった研究者に対する褒賞

その他前条の目的を達成するために必要な事業

財団の概要

出捐会社 第一三共株式会社
基本財産 10億300万円
主務官庁 文部科学省研究振興局研究助成課
設立月日 昭和58年11月1日
特定公益増進法人許可日 平成20年3月31日（更新）

事業の概要

助成事業	概要
研究助成	200万円（100万円×2年）、30件
海外共同研究支援助成	50万円、シンポジウム開催助成と併せて、10件
シンポジウム開催助成	50万円、海外共同研究支援助成と併せて、10件
三共“フェローシップ”奨学 研究助成	600万円（300万円×2年）、5件
褒賞事業	概要
研究業績褒賞	第8回高峰記念三共賞 1件
高峰カンファレンス	第8回高峰記念三共賞受賞テーマに関連するシンポジウムの開催

財団役員（平成21年12月現在）

理事長	池上 康 弘	第一三共株式会社相談役
常務理事	森田 明	三共生命科学研究振興財団
理 事	尾前 照 雄	国立循環器病センター名誉総長
	岸本 忠 三	大阪大学大学院生命機能研究科教授
	齋藤 英 彦	名古屋セントラル病院院長
	杉村 隆	国立がんセンター名誉総長
	高久 史 磨	自治医科大学学長
	豊島 久真男	理化学研究所研究顧問
	廣部 雅 昭	静岡県学術教育政策顧問
	別府 輝 彦	東京大学名誉教授
	萬年 徹	社）三井記念病院名誉院長
	矢崎 義 雄	独）国立病院機構理事長
	山田 康 之	国立奈良先端科学技術大学院大学名誉教授
	吉 永 馨	宮城県成人病予防協会会長

監 事	牧 野 光 宏	牧野公認会計士事務所所長
	渡 邊 亮 一	第一三共株式会社 財務経理部部長
名誉理事	織 田 敏 次	日本赤十字医療センター名誉院長
	早 石 修	大阪バイオサイエンス研究所理事長
	松 井 正 直	東京大学名誉教授
評議員会議長	金 澤 一 郎	日本学術会議 会長
評 議 員	板 倉 光 夫	徳島大学疾患ゲノム研究センター教授
	市 川 厚	武庫川女子大学薬学部教授
	今 井 潤	東北大学大学院薬学・医学研究科教授
	内 山 卓	財) 田附興風会 医学研究所 北野病院院長
	衛 藤 義 勝	東京慈恵会医科大学遺伝病研究講座教授
	萩 原 俊 男	大阪府立急性期・総合医療センター 院長
	小 俣 政 男	山梨県立中央病院特別顧問
	小 木 村 哲	東京通信病院院長
	黒 川 清	政策研究大学院大学教授
	小 池 隆 夫	北海道大学大学院医学研究科教授
	猿 田 享 男	慶應義塾大学 名誉教授
	居 石 克 夫	独) 国立病院機構福岡東医療センター研究教育部長
	中 釜 齊	国立がんセンター研究所 副所長
	中 西 重 忠	大阪バイオサイエンス研究所 所長
	長 野 哲 雄	東京大学大学院薬学系研究科教授
	秦 順 一	国立成育医療センター 名誉総長
	堀 田 知 光	独) 国立病院機構 名古屋医療センター 院長
	溝 口 秀 昭	東京女子医科大学 名誉教授
	森 謙 治	東京大学名誉教授
選考委員長	村 松 正 實	埼玉医科大学ゲノム医学研究センター客員教授
委 員	伊 藤 貞 嘉	東北大学大学院医学系研究科教授
	大 谷 浩	島根大学医学部教授
	堅 田 利 明	東京大学大学院薬学系研究科教授
	加 藤 茂 明	東京大学分子細胞生物学研究所教授
	金 田 安 史	大阪大学大学院医学系研究科教授
	清 原 裕	九州大学大学院医学研究院教授
	小 室 一 成	千葉大学大学院医学研究院教授
	辻 省 次	東京大学大学院医学系研究科教授
	西 村 正 治	北海道大学大学院医学研究科教授

橋田	充	京都大学大学院薬学研究科教授
福山	透	東京大学大学院薬学系研究科教授
松本	俊夫	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部教授
湊	長博	京都大学大学院医学研究科教授
山本	博	金沢大学大学院医学研究科教授

財団法人 三共生命科学研究振興財団

(Sankyo Foundation of Life Science)

〒107-0052 東京都港区赤坂3-12-5 共友ビル

TEL 03-3588-1816 FAX 03-3588-1815

E-mail : info@sankyo-fdn.or.jp